

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	エクセプション 5.0	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.560	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

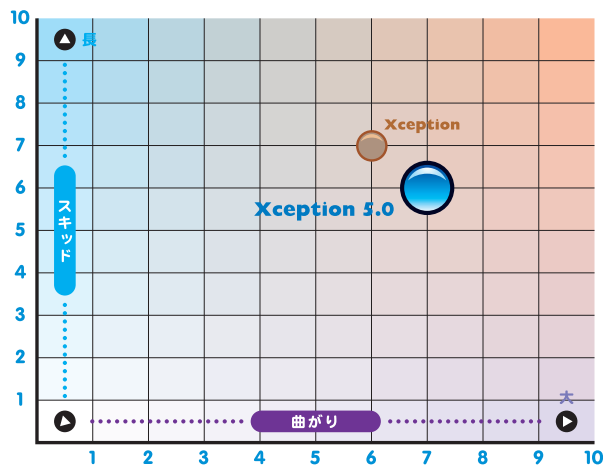
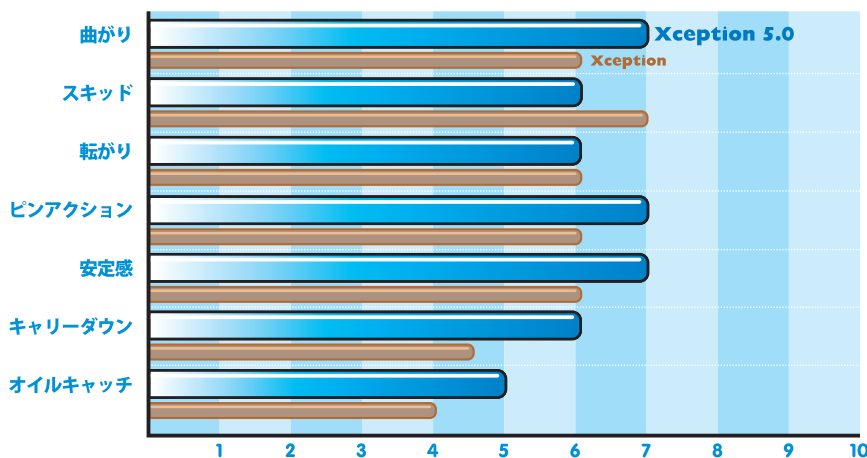
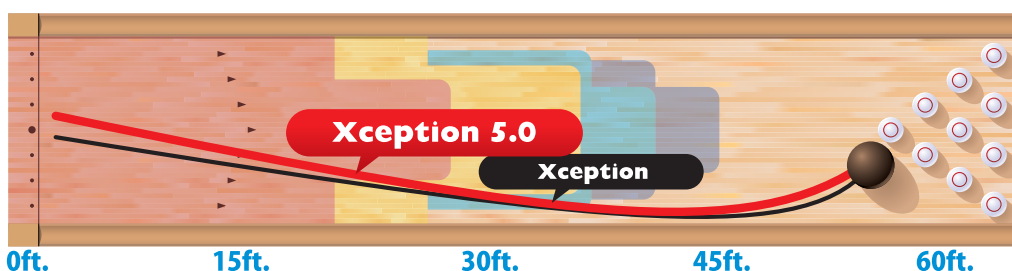
**比較対象ボール：エクセプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



### ボールの評価

カバーストック及びコアの変更によりエクセプションよりスキッドは短くなった。しかし、手前からドロドロと曲がるのではなく、程よいスキッドを感じる。特にコアのデフレバー部分の変更とカバーストックの組み合わせは、モーションポテンシャルが大きくなり、ミッドエリアでの強いキャッチ力を感じる。トラック社のマスバイアス特有のモーションポテンシャルを強く感じるため、曲がり幅は大きく、ホッケースティックの曲がり手前の緩やかなアークを加えた感じのリアクションです。ピンアクションはやや硬めだが、上にとぶようなアクションではなく低く後ろにとばすアクションで、ピンアクションに関しては、総合的なバランスを考え、タップを軽減させるよう意図的に設定されているようである。

対応コンディションはミディアムオイル～オイリー用の設定に感じるもので、手前のブレイク・ダウンした状態では本来のパフォーマンスは発揮されないでしょう。キャリアダウンはミッドエリア上でモーションポテンシャルが働き、左に少しでも向きを変えられるコンディションであれば、差ほど気にならないでしょう。エクセプションよりレーンキャッチが強くなっていますので、前作のエクセプションを使用し、リアクションに不満を感じた方にも満足いくポテンシャルを約束できると思います。

### 特記事項

**トラック社特有のコアとカバーストックの組み合わせがもたらす軸移動は、あなたに、さまざまなコンディションで常に安定したポテンシャルとパフォーマンスを提供してくれるでしょう。**